

第3回

VUCA時代における教育・医療・福祉等
における多職種・他機関連携の在り方
—多様性・多文化共生を基盤とした地域連携—

日時 2023.11/23 (木・祝)
9:30 - 16:00

開催形態 会場：静岡大学共通A棟
ZOOMウェビナー(午前のみオンライン併用)

参加資格 事前申し込み者
参加申込は右の専用サイトから

参加申し込み

下記 QR コードまたは URL から 参加申込サイトにアクセスしてください



<https://tinyurl.com/272cjwhy>

申し込み受付期間
9/22 (金) ~ 11/17 (金)

子どもを取り巻く社会の状況は年々厳しさを増し、子どもたちの心身の健康課題も深刻化・複雑化・多様化しています。世界は今、VUCA (Volatility【変動性】・Uncertainty【不確実性】・Complexity【複雑性】・Ambiguity【曖昧性】) 時代を迎えています。これまでの方法や考え方には対応が困難であり、新たな知の創造が求められています。そのような中、学校は今、インクルーシブ教育の進展により、多様な背景を持つ子どもへの支援がますます求められるようになっていきます。個別最適化の教育や学びの保証を含め、教育と医療・福祉は切り離せない時代となりました。本企画では、子どもの未来を守るために、新時代の地域医療・福祉と学校教育との新たなあり方を模索し、課題解決のための方法や工夫を考え、「地域の共有の財産」として還元していきたいと思います。

— 午前 —

- 開会行事9:30- 挨拶 静岡大学学長 日詰一幸
- 基調講演① 9:40—11:00
- 基調講演② 11:10-12:30

— 午後 —

- 課題別分科会：13:50-15:50
- 閉会：16:00

● 問い合わせ先：教育・医療・福祉多職種・他機関連携プロジェクト事務局
<https://tinyurl.com/2xkvzk2v> またはQRコード

● 参加費：無料

後援(申請中)：静岡市教育委員会・浜松市教育委員会・静岡県教育委員会
共催：教育・医療・福祉多職種・他機関連携プロジェクト
静岡大学サステナビリティセンター <https://www.shizuoka.ac.jp/sustainability-ctr/>
静岡大学男女共同参画推進室 <https://www.sankaku.shizuoka.ac.jp/>



プログラム詳細

午前

9:00 ● 受付

9:30 ● 開会

挨拶 静岡大学 学長 日詰一幸
フォーラム趣旨説明

9:40~
11:00

● 基調講演 1 教育・医療・福祉をつなぐ目標指向的アプローチ
～複合的ニーズに係る重層的支援の課題をととして～

講師 静岡福祉大学 学長 増田樹郎
座長 静岡大学教育学部 学部長 熊倉啓之

11:10~
12:30

● 基調講演 2 学校を軸に子どもと家庭のサインに
気づき、支える

講師 愛知教育大学 准教授 五十嵐哲也
座長 静岡大学教育学部 教授 鎌塚優子

午後

13:50~
15:50

● 分科会

① 「「生きづらさを抱えた知的障害、発達障害の生徒の思春期の性教育」
話題提供者 福祉型大学校カレッジまどか 学長 國分聡子
コメンテーター・座長 静岡大学教育学部 講師 村上広美

② 外国籍児童生徒及び家族支援のあり方
話題提供者 静岡県教育委員会 静東教育事務所 地域支援課 大久保律子
コメンテーター・座長 静岡大学教育学部 准教授 稲葉英彦

③ 不登校児童生徒の支援の課題と地域連携
話題提供者 静岡市教育委員会 児童生徒支援課 渡辺剛史
渡邊睦美
コメンテーター 愛知教育大学 准教授 五十嵐哲也
座長 静岡大学教職大学院 特任教授 渡邊昇司

④ 病弱児・障害児及びきょうだい支援のあり方と課題
話題提供者 浜松医科大学 講師 宮城島恭子
ボランティアチームあみきち 勝見さおり
コメンテーター・座長 静岡大学 教育学部 准教授 出口奈緒子

⑤ 教育、医療、福祉に関心のある高校生・学生の交流会
討論テーマ 「『誰一人取り残さない社会』を共創するSDGsワークショップ」

SDGsは、「誰一人取り残されない」世界を実現するための目標です。「取り残される/取り残されない」とはどのようなことなのでしょう？次世代を担う世代の皆さんと共に考える機会としたいと思います。

ファシリテーター 静岡大学 大学教育センター/サステナビリティセンター
講師 安富 勇希

コメンテーター 静岡大学教職大学院 特任教授 吉澤勝治
座長 静岡大学教育学部 准教授 中村美智太郎

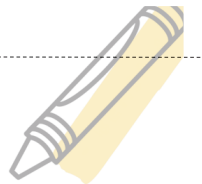
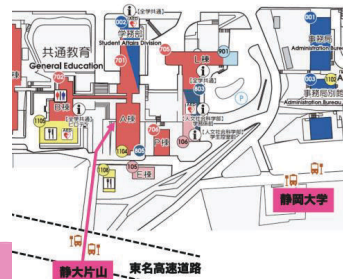
16:00

● 閉会

開催形態

会場：静岡大学共通A棟
ZOOMウェビナー(午前のみオンライン併用)

● バス停「静大片山」から
徒歩2分、右手の建物です



本フォーラムは特に次のSDGsの目標に貢献します。
Goal 3 あらゆる年齢の全ての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する